

第七十五回帝國議會
衆議院

輸出資金及輸出品製造資金融通損失補償法案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
損害保險國營再保險法案(政府提出)
商業組合法中改正法律案(政府提出)
商業組合法中改正法律案(政府提出)
輸出(第九〇號)
輸出手織物取締法案(政府提出、貴族院送付)(第八八號)

會議

昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 井上 知治君

理事西田 郁平君 理事古田喜三太君

理事會和 義式君 理事鹽川 正藏君

渡邊玉三郎君 津原 武君

最上 政三君 川島正次郎君

野方 次郎君 宮本雄一郎君

星 一君 世耕 弘一君

伊東 岩男君 山元龜次郎君

松村 光三君

三月九日委員岡崎久次郎君及小串清一君辭任ニ付其ノ補關トシテ渡邊玉三郎君及伊東岩男君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 加藤鐵五郎君

商工省監理局長 牧 楯雄君

商工省振興部長 妹川 武人君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工書記官 安田 元七君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

損害保險國營再保險法案(政府提出)

商業組合法中改正法律案(政府提出)

○井上委員長 是ヨリ開會致シマス、先ヅ商業組合法中改正法律案ニ付キマシテ御審議ヲ御願致シマス——渡邊君

○渡邊委員 物資配給統制並ニ物價統制ノ

進展ニ伴ツテ、商業組合制度ノ公共的使命ガ増大シテ居ルノデアリマス、之ニ鑑ミラ

レマシテ本法案ヲ出サレタ、私ハ此ノ際商業組合ノ事業ノ範圍ヲ擴張シテ、サウシテ貯金資格者ノ範圍ヲ組合員ト同一ノ家族ノ者及ビ組合從業員ノ貯金ヲ認ムルコトニ商工當局ニ於テハ最初立案シテ居ラレタ、ナゼソレヲ本法案ニ出サレナカッタノデアアルカ、又次ニ組合員ノ營業ニ關スル手形ノ割合等ヲモ認ムル御計畫デアツタガ、ナゼ本法案ニソレヲ出サレナカッタカ、其ノ點ノ明快ナル御答辯ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○妹川政府委員 只今ノ御質問ノ點デゴザイマスガ、御指摘ノ通り最初ハ私共モ商業組合ノ事業範圍ヲ擴張致シマシテ、貯金ノ資格者ノ範圍ヲ擴張スルコト、ソレカラ又組合員ノ營業ニ關スル手形ノ割引ヲモ認ムルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、色々ト關係ノ方面トモ折衝致シテ居リマシタケレドモ、マダ商業組合ノ現在ノ發達ノ狀況カラ見マス、ソレ程マデニ、金融事業ヲ認メルト云フマデニ至ツテ居ナイト云フヤウナ點モゴザイマシタシ、又此ノ事業ガ商業組合本來ノ事業ニ比較致シマシテ、附帶的ナ業務デアルト云フコトカラモ考ヘマシテ、今回ノ改正ニハ、ソレヲ取止メルコトニ致シタノデゴザイマスガ、私共モ只今御示ノヤウニサウ云フ問題ニ付キマシテ是非此ノ事業ノ範圍ヲ擴張致シ

マシテ御尋ラスルノデアリマスカラ、其ノ工業組合關係ノ御答辯ヲ願ヘル人ノ御出席ヲ願ツテ置キマス、商業組合ノ御立場カラ先ヅ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、一寸速記ヲ中止シテ戴キマス

○井上委員長 速記ヲ中止シマス

(速記中止)

○井上委員長 速記ヲ始メマス

○渡邊委員 統制商業組合ニ、國家ハ必要ニ應ジテ統制上經濟的行爲ヲ爲スベキ命令ヲ爲スコトガアリマスカドウデアリマスカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、私ノ質問ヲ致シマスル要點ハ、今度ノ特別法人稅ガ出資ヲ條件トシテ居ル、出資ガナケレバ特別法人稅ガ課ラナイ、斯ウ云フ關聯ヲ持ツテ居リマス、隨テ商業組合ノ全國的商聯ト云フモノハ、統制ガ主デアルベキ筈デアリマス、然ルニ今マデハ商業組合ト云ヒ、工業組合ト云ヒ、出資ヲ條件トシテ認可サレテ居ルモノガ多イ、或ハ商業組合、工業組合ヲ合スレバ、一万ニ垂ントスル組合ガアルト思ヒマスケレドモ、殆ド大部分ハ、九九%九マデハ出資ガ條件トナツテ居ル、殊ニ工業組合ニハ、出資ヲ條件トセザル工業組合ハ未ダ曾テ一ツモナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、全國ヲ統制スル國家ノ目的ニ副ヒマシテ、所謂物資配給關係ノ統制事業ヲ行フトカ、斯ウ云フヤウナ仕事ヲ殆ド商業組合モ工業組合モ致シ國家使命ノ重要ナル役割ヲ果シマス上ニ於テ、或

○妹川政府委員　只今ノ御質問デゴザイマスガ、御尤モデゴザイマシテ、私モ最初此ノ法律ヲ讀ミマシタ時ニ、サウ云フ風ニ感ジマシタノデゴザイマスガ、此ノ前統制商業組合ガ認メラレマシタ時、只今ノヤウナ規定ハ統制商業組合デナイ組合ニハ、統制商業組合ト云フヤウナ文字ヲ使ツテハイケナイト云フコトヲ入レテ置カナケレバナラナカツタノデアリマスガ、此ノ前ノ改正ノ時ニソレヲ落シタヤウナ譯デアリマシテ、今回ノ改正ニ於テソレヲ整理致シマシテ入

レタ譯デアリマス

○渡邊委員 私ハ商業組合ニ統制商業組合ヲ許シ、工業組合ニハ法文ニアツテモ許シテ居ナイ、殊ニ今回メテ統制商業組合ナル文字ノ御提案ガアツタ、斯ウ致シマスルト、今マデ御説明ニナリマシタル妹川君ノ御答辯ニ又疑フ挟ムモノデアリマスケレドモ、多ク追究ヲ致シマセヌ

〔委員長退席、野方委員長代理著席〕

唯一例ヲ申上ゲマス、例ヘバ御菓子屋サン、

或ハ豆腐屋、或ハ家具屋ノ製造販賣ヲスル者ハ工業者カ商業者カ、次ニ織物ヲ製造販賣スル者ハ工業者カ商業者カ、斯ウ云フヤウニ商工業ノ區別ト云フモノハ、或ル部門

ニ於テハ分ラナイ、ハツキリシジナイ點ガアルノデアリマス、隨テ是等ガ今日ノ時局、統制時代ニ鑑ミテ色々組合ヲ作ルノデアリマスガ、商業組合ニハ許スケレドモ、工業組合ニハ許サレテ居ナイト云フ所ニ私ハ疑フ持ツテ居ル、今申シマシタヤウニ、各業態ニ付テハ商工省ハ商業者ト見ルノカ、工業者ト見ルノカ、此ノ邊モ重ネテ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 其ノ事業ノ種類ニ依リマ

シテ、工業ト見タ方ガ適當デアノカ、或ハ商業ト見タ方ガ適當デアノカト云フヤウナ區別ノ困難ナ事業ガアルノデゴザイマスガ、只今御示ノ家具ダトカ、指物師ダト内、斯ウ云フヤウナ例デゴザイマスガ、サウ云フヤウナ手工業的ナモノニ付キマシテハ、中々何レニ入レルベキカト云フ區別ガ困難ナモノモゴザイマス、ソレデ商工省ト致シマシテハ、サウ云フ問題ガ起ツタ場合ニ應ジマシテ十分研究ヲ加ヘマシテ、商業トシ或ハ工業トシテ、何レカニ分類シテ工業組合ヲ設立サセルカ、商業組合ヲ設立サセルカシテ居ルノデアリマス、只今御示ノ織物ノ如キ所謂生産問屋ト申シマスカ、サウ云フヤウナ種類ノモノニ付キマシテハ、工業者デアレバ工業組合ヲ設立サセルヤウニト云フ通牒ガ、以前地方長官ニ對シテ發セラレタヤウナ次第モゴザイマスノデ、此ノ生産問屋ニ付テハ工業者ト認メテ工業組合ヲ設立スルト云フヤウナコトニシテヤツテ居リマス

○渡邊委員 洵ニ細カイ話デスガ、私が過日上野ノ邊ヲ通りマスト、何處ノ店デアツタカ「ネクタイ」ヲ織リツツ賣ツテ居ル、斯ウ云フノハ一體工業者カ商業者カ、承リマヌ
○妹川政府委員 中々難カシイ問題デゴザイマスガ、丁度洋服ニ付テモサウ云フ例ガゴザイマシテ、洋服ノ注文ヲ取ツテ、拵ヘテ賣ツテ居ルト云フノハ現在ハ商業組合ニ入レテ居リマス、併シ既成品ノ洋服ヲ澤山作りマシテ、サウシテ賣ルヤウナ洋服屋ハ工業組合ニ入レテ居リマス、只今「ネクタイ」屋ノ問題デゴザイマスガ、事實ニ付テハ能ク知リマセヌノデ、十分御答ハ致

シ兼ネルノデアリ、マスケレドモ、若シソレガ製造ト云フ點ニ重キヲ置イテヤツテ居ルノデシタラ、恐ラク工業者デアリマシテ、若シ製造シタモノヲ販賣設備ヲ以テ店舗デ賣ツテ居ルト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、ソレハ商業組合ニ入ルベキモノダト考ヘマス
○渡邊委員 私共見テモ分リマセヌカラ、此ノ點ヲハツキリ質シタイト思ヒマスケレドモ、ヤハリ御答辯モハツキリシナイ、今事例ヲ舉ゲマシタ「ネクタイ」屋ハ、店ニ機械ヲ据エテ織出シテ賣ツテ居ル、斯ウ云フノデアリマスガ、ソレハ一體下チラニ屬スルモノデアルカ、斯ウ云フ點ガハツキリシナイト、商業組合ト工業組合ノ範圍ト云フモノガ、將來境目ニ摩擦ヲ生ズルヤウナコトガ出來テ來ルコトガアリハシナイカ、其ノ點ヲモウ一應御答辯願ツテ置キタイ

○妹川政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、今ノヤウナ事業ノ種類ニ付テハ中々明確ニ商業者カ工業者カ、何レカト判斷スルコトハ相當困難ノヤウニ考ヘマスケレドモ、御指摘ノヤウナモノハ大體工業者デハナイカト考ヘマス、尙ホ其ノ業態ヲ明確ニ致サナケレバ商業者デアルカ、工業者デアルカト云フハツキリシタ御答辯ガ、致シ兼ネルヤウニ考ヘマス
○渡邊委員 商業組合ノ解散ヲ命ズル、或ハ全國ノ商業組合聯合會ヘ加盟ヲシテ居ル商業組合ニ、脱退ヲ強制スルト云フコトガ、商業組合カ何カデアルノデアルカ、ナイノデアルカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイ
○妹川政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、解散ヲ命ズルコトモ、脱退ヲ命ズルコトモ出來ルト云フコトニナツテ居リマス

○渡邊委員 然ラバ過去ニ於テ何ト云フ商業組合ニ解散ヲ命ジタコトガアルカ、又全商聯加盟ノ商組ニ脱退ヲ強制シタコトガアルカナキヤ、御尋シマス
○妹川政府委員 商業組合ニ付テ脱退ヲ強制シ、又組合ニ解散ヲ命ジタヤウナ場合ハ、今マデハ一ツモ事例ハゴザイマセヌ
○渡邊委員 事例ガナイケレドモ、法規ノ上ニ於テハアルノダ、サウシマスト假定的ニドウ云フ場合其ノ法規ニ依ツテ脱退ヲ強制シ、解散ヲ命ズルノカ、一ツ御示ヲ願ヒタイ、先ヅ第一ニ商業組合ニ解散ヲ命ズル場合ハ如何ナル場合デアルカ、又第二トシテ全商聯加盟ノ商業組合ニ脱退ヲ強制スル場合ハ、ドウ云フ場合デアルカ、斯ウ云フ點ヲ御答辯願ヒタイ

○妹川政府委員 組合ノ解散ヲ命ジマス場合ハ、商業組合法ノ二十七條ノ規定ニ依リマシテ、組合ノ事業或ハ財産ノ狀況ニ依リマシテ、其ノ事業ノ繼續ガ困難ナリト認メマシタ時デアルトカ、或ハ組合ノ行為ガ法令デアルトカ、定款ニ違反シタ場合デアルトカ、ソレカラ行政官廳ノ命令ニ違反シタ場合、又公益ヲ害スルヤウナ虞ガアル場合、サウ云フ場合ニ於キマシテハ組合ニ解散ヲ命ズルコトガ出來ル、斯ウ云フ規定ニナツテ居リマス
○渡邊委員 行政官廳ノ命令ニ背クト云フコトハ、如何ナルコトヲ指スノデアアルカ、例ヘバ商業組合ト云フモノガアツテ、聯合會ニ入ツテ居ル、併シ其ノ他ノ今例ヲ舉ゲラレマシタヤウナ問題ニ付テデナク健全ナ組合ノ發達ヲ遂ゲツツアル、併シナガラ行政官廳ガ一府縣ニ數個ノ組合ガアルノヲ、聯合會ヲ組織シテ、聯合會ニ加盟セシメタ

イ、隨テ其ノ數個ノ組合ヲ脱退セシメタイト云フヤウナ場合ガアルコトト思ヒマス、併シナガラ行政官廳ハ其ノ府縣ニ三ツナリ四ツナリノ數個ノ組合ガ適當ナリトシテ、初ハ許可シテ置イタト云フヤウナ場合ニハ、行政官廳ノ都合上ニテ命令デ出來得ルト云フコトハ甚ダ不都合デアルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ適用シナイノデアアルカドウカ、御答辯願ヒタイ
○妹川政府委員 行政官廳ガ何カ組合ニ對シマシテ斯ウ云フコトヲシロト云フ場合ハソレハ公益上或ハ其ノ時ノ組合ノ統制上、或ハ組合ノ經濟事業ヲ爲ス上ニ於テ必要ナ命令ヲ爲シマシタ際、サウ云フ場合ニ命令ニ違反シテ、ソレヲシナカツタ場合、初テ解散ヲ命ジ得ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○渡邊委員 行政官廳ト云フノハ府縣デアルカ、商工省デアリマスカ
○妹川政府委員 行政官廳ト申シマスノハ、府縣單位以下ノ組合デゴザイマシタラ地方長官デゴザイマシテ、府縣ニ跨ツテ居ル組合トカ或ハ全國的ノ組合デゴザイマシタラ商工大臣ガ行政官廳ニナリマス
○渡邊委員 此ノ商業組合ト云ヒ、或ハ工業組合ト云ヒ、地方ノ行政官廳ガ許可ヲスルノデハナク、中央、所謂商工省ガ直轄デ許可サレルモノト信ジテ居リマスガ、斯ウ云フ場合ニ於テ地方ノ都合ニ依ツテ誤ツタル縣ノ行政カラサウ云フコトヲ強要スルト云フヤウナ場合ガアツタトスレバ、所謂中央ノ行政官廳ハ如何ナル處置ヲ執ルノデアアルカ
○妹川政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、單位ガ府縣以下ノ組合ニ付キマシテ

ハ府縣知事が認可スルコトニナツテ居リマスガ、行政ノ方針ト致シマシテハ、只今ハ地方長官ガ商工大臣ニ認可ノ打合せト云フコトヲヤツテ居リマシテ、其ノ打合せヲ参リマシタ場合、不適當デアレバ認可ヲシナイヤウニト云フ指令ヲ出シマスシ、認可シテ差支ナイモノデアリマスナラバ、認可シテモ差支ナイト云フ指令ヲ出シテ居リマス、若シソレニモ拘ラズ、府縣知事が間違ツタ處分ヲ爲シタヤウナ場合ニハ、商工大臣ガ一般ノ監督權ニ基キマシテ取消シ得ルコトニナツテ居リマスカラ、御示ノヤウナ點ハ十分避ケ得ルヤウニ努メルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 大體此ノ問題ハ、商業組合ノ解散ヲ命ズルト云フヤウナコトハ、先ヅ是マデニ事例ガナイ、又商聯加盟ノ商組ニ商聯加盟ダケヲ脱退セヨト云フヤウニ命ズルコトハ將來ニ於テモ普通ナイモノト思ヒマシテ差支ナイノデアリマスカ、其ノ點ヲ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 大體御示ノ通りデ宜シイト考ヘマス

○渡邊委員 次ニ商業組合ノ地域ノ問題デスガ、二府縣以上ニ跨ガル組合ヲ認メラレル場合ハ、其ノ行政官廳ト云フノハ何處ニ主體ガアルノデアルカ、又全國のナ單一ノ商業組合ニ對シテハ、誰ガ監督スルノデアルカ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 府縣單位以下ノ組合ニ付キマシテハ、監督スル行政官廳ハ府縣知事デゴザイマス、ソレカラ二府縣以上ニ跨ツテ居リマス組合ニ付キマシテハ商工大臣、ソレカラ全國のナ單一ノ商業組合ニ付キマシテモ其ノ監督ハ商工大臣デゴザイマス

○渡邊委員 二府縣以上ニ跨ル組合ハ商工大臣ダト承リマシタガ、ソレニ間違ナイトスレバ、今度ノ商業小組合ハ其ノ地域ガ二府縣ニ跨ル場合アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 商業小組合ニ付キマシテハ地域ノ規定ガゴザイマセヌノデ、成程二府縣以上ニ跨リマス場合ガアリ得ル譯デゴザイマスガ、此ノ場合ハ商業小組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ以テ法人ノ住所ト致シテ、其ノ住所ヲ管轄シテ居ル所ノ府縣知事が認可ヲスル、斯ウ云フコトニナルモノト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 サウデアレバ、只今ノ御答辯デハ二府縣以上ニ跨ガル場合ハ行政官廳ハ商工省ト仰シヤツタケレドモ、ヤハリ主タル事務所ノアル所ノ知事が行政官廳デアルノデハナイカ、若シ御間違ガアツタトスレバ御答辯ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○妹川政府委員 只今ノ御質問ハ御尤モニ考ヘマスガ、商業組合ノ場合ニ付キマシテハ、二府縣以上ニ跨ガル場合ハ、何レノ縣知事ニモ之ヲ片方ニ任セルト云フノハ穩當デナイト考ヘマシテ、商工大臣ガ所管スルコトニ致シタノデゴザイマスガ、小組合ハ何分ニモ十人未滿位ノ人間ヲ豫想シテ居リマスノデ、二府縣ニ跨ツテ府縣知事が監督スル必要モナイト考ヘマシタノデ、主タル事務所ヲ置イテ居ル所ノ府縣知事ニ監督ヲサセタイ、斯様ニ考ヘマシテ此ノ組合制度ヲ持ヘタ譯デアリマス

○渡邊委員 商業組合ガ其ノ組合員ノ脱退又ハ加入ニ對シテ故ナクシテ阻止シ又ハ拒ム場合、私ハ物價統制ノ進展ノ重要性ニ伴ヒマシテ、或ハ利害關係ヨリ左様ナ場合

ガナイトハ言ヘナイト思ヒマスガ、斯ウ云フ時ニハ商工當局ハ如何ナル措置ヲ其ノ組合ニ對シテ執ラレマスカ、御伺フシテ置キマス

○安田説明員 只今ノ御話ハ、故ナクシテ組合員ノ加入又ハ脱退ヲ拒ムト云フ場合ニ、監督官廳ハ如何ナル監督方法デカ之ヲ矯正スル途ガアルカ、斯ウ云フヤウニ御聽キシタノデゴザイマス、其ノ場合ニハヤハリ先程部長ガ申サレマシタヤウニ、二十七條ニ「組合ノ事業若ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行為ガ法令、定款若クハ行政官廳ノ命令ニ違反シタルトキ」ト云フヤウナコトデ一般監督規定ガアル譯デアリマス、故ナクシテ加入又ハ脱退ヲ拒ムト云フ時ニハ法令ニ違反スルト云フ風ニモ考ヘラレマスシ、又ソレニハ一般行政監督トシテ、コチラガ命令ヲスルコトガ出來得ルト思ヒマス、其ノ命令ニ反シテ尙且ツ入レナカツタリスルト云フ場合ニハ、二十七條ノ監督規定ニ依リマシテ種々役員ニ對スル制裁トカ、又ハ組合ニ對シテ制裁スルコトガ出來得ルコトニナツテ居ル譯デアリマス、未ダ會ツテサウ云フコトヲヤツタ事例ハアリマセヌガ、監督規定トシテハサウ云フ途ガ開カレテ居リマス

○渡邊委員 私ハ隨分サウ云フヤウナ事例ノアルコトヲ聞イテ居リマス、例ヘバ商業組合ニ加盟致シマスニモ、工業組合ニ加盟致シマスニモ紹介者ガ必要デアル、或種ノ工業ナリ商業ヲ現在營ンデ居リマシテモソレヲ加入ヲ留保スル事實ハ入レナイ、斯ウ云フヤウナ例ハ澤山アルト思ヒマスガ、斯ウ云フコトガ假ニ私ノ言フ通りニアルトスル

ナラバ、商工當局ハ何ト御考ニナツテ居ルノデアルカ、先ヅ其ノ點ヲ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 私共サウ云フ際ハ十分ニ事情ガ分ツテ居リマセヌノデ、或ハサウ云フ場合ガアリ得ルカモ知レマセヌケレドモ、若シサウ云フコトガアツタコトガ、ハツキリ致シマシタナラバ、ソレハ甚ダ不都合ナコトデアリマスノデ、十分ニ善處致シタイト思ヒマス

○渡邊委員 サウシマスレバ、其ノ商業組合ノ地區内ニ其ノ組合ノ目的トスル事業ヲ行ツテ居ル者ハ加盟ヲ申込メバ、其ノ組合ハ加入ヲサセナケレバナナイト云フコトニ承知シテ宜イノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ、尙ホ左様ナ場合ニ於キマシテ商組ノ都合ニ依リ、或ハ組合ノ勝手ニ依ツテ加盟ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フコトニ承知シテ宜イノデアルカ、其ノ邊ヲ成ベク詳シク御答辯ヲ願ツテ置キマス

○妹川政府委員 サウ云フ場合ハ加盟ヲ拒ンデハイケナイノデゴザイマスガ、正當ノ事由ナクシテ加入ヲ拒否スルコトハ、出來ナイト云フ規定ニナツテ居リマスシ、又加入ニ付テ困難ナ條件モ附スルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマスノデ、サウ云フ際ハ其ノ具體的事實ニ付テ能ク調べマシテ、十分善處致シタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 次ニ第十一條ノ第一項ヲ左ノ如ク改ム「本法ニ依リ登記スベキ事項ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ登記スベシ」トナツテ居リマスガ、過去ニ於テ登記ノ手續等ノ不便等ノ爲ニ隨分違反者ガアルト思ヒマス、私ノ不便ト申シマシタコトハ、例ヘバ主タル事務所ガ東京ニアル、從タル

事務所が名古屋トカ大阪ニアルトカ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、東京ノ方面ハ比較的寛大デアリマスケレドモ、其ノ書類ノ出シ方或ハ色々手續ガ地方ヘハドウシテモ遅レテ来ルコトニナリマス、隨テ二週間デハ出来ナイヤウナ事情ガアルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ慮ルノデリマス、即チ私ノ質問ノ要旨ハ、今ノ心配ノ點ト手續違反ハ是マデドレダケアルノカ、斯ウ云フ點ヲ承リタイノデアリマス

○妹川政府委員 只今ノ御指摘ノ點デゴザイマスガ、本法ニ依リマシテ登記スベキ事項ハ、其ノ當該條文ニ於キマシテ別段ノ規定ナキ限りハ、其ノ事實ノ生ジタル後二週間ニ爲スベキコトト通常解釋サレテ居リマスケレドモ、現行法ニ於キマシテ其ノ別段ノ規定アルト云フモノヲ除外スルコトガ不明確デアリマシタノデ、此ノ點ヲ今度明確ニ致シマシタヤウナ譯デアリマス、例ヘバ法人設立後ノ事務所ノ設立登記ノ期間、法人ノ事務所ノ移轉ノ登記ノ期間デアリマストカ、サウ云フヤウナ場合本法ニ別段ノ規定アル場合ニハ、ソレニ從ツテ除外例ニナルト云フコトヲ明確ニシタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ御質問ノ登記ノ違反ノ數ト云フヤウナモノハ、實ハ調査ガナイノデゴザイマス

○渡邊委員 是ハ相當ニ手續事犯ガアリ、善良ナル組合役員ガ迷惑シテ居ルモノガ私ハアルモノト思ヒマスケレドモ、調査ガナイサウデアリマスカラ、此ノ際追究致シマセヌ、次ニ移リマス、私ハ此ノ法案ヲ通ジマシテ一番問題デアリ、商工大臣ニモ御尋シテ置カナケレバナラスト思ヒマスコトハ、二一條ノ三デアルト思ヒマス、即チ「行政官

廳監督上特ニ必要アリト認ムルトキハ第三條第一項第二號ノ事業ヲ行フ商業組合ノ理事又ハ監事ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、此ノ點ニ付キマシテドウ云フ時ニ官選スルノデアルカ行政官廳ガ監督上必要アリト認ムル時ニト云フハ如何ナル場合カ、自治デナクシテ理事、監事ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトガ出来ルヤウニセラレノデアルガ、今官僚獨善ノ聲ノ相當高イ時ニ、殊ニ商行爲等ニ於キマシテハ素人ト官吏デ御知リノナイ經驗或ハ慣習等ガアルノデアリマス、ソレヲ官吏ノ氣ニ入ラスカラ解任スルノダ、或ハ選任ハ商工省ニ權限ガアルノダト云フコトハ産業進展ノ上ニ甚ダ面白クナイ傾向デアルト思ヒマス、其ノ點ニ付テ一應ノ御答辯ヲ承ツテ置キマス、尙又第三條第一項第二號ト云フノハドンナ場合デアルカ、詳細ノ御説明ヲ願ツテ置キマス

○妹川政府委員 只今御指摘ノ第二十一條ノ三ノ規定デアリマスガ、從來統制事業ヲヤツテ居リマス組合ニ付キマシテハ、組合ノ理事ノ選任及ビ解任ハ、行政官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要スルコトニナツテ居ツタノデゴザイマスガ、最近色々ト物資、物價ノ統制ガ行ハレマシテ、此ノ商業組合モ國家的機關トシテノ色彩ガ多クナリマシテ、統制協力機關トシテ商業組合ガ段々ト認めラレルヤウニナツテ参リマシタノデ、サウ云フ事業ヲヤツテ居ル組合ノ役員ノ地位ニ付キマシテ、一方此ノ役員ノ地位ヲ保護スルト共ニ、又其ノ役員ノ地位ヲ積極的ニ失ハシメルコトガ必要デアル場合ガ起ララウト考ヘマシテ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデゴザイマスガ、其ノ保護スルト云フ場合ハ

斯ウ云フ場合ヲ指シテ居ルノデゴザイマス、最近色々ト物資ノ配給等ニ付キマシテ統制ヲ行ツテ居リマス場合ニ、組合員カラ役員ニ向ツテ色々ノ配給ノ割當ノ増加トカ、其ノ他ニ付キマシテノ要望ガアルノデゴザイマス、其ノ爲ニ役員ノ地位ニ不安ヲ感ズルヤウナコトガアリマスノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ役員ノ地位ヲ擁護スル爲ニ此ノ規定ヲ設ケテ居ル譯デアリマス、モウ一ツハ此ノ役員ガ其ノ地位ヲ利用シテ色々ト不正ナコトヲスル、或ハ自分ニ關係ノアル者ニ割當ヲ増シテヤルトカ、サウ云フヤウナコトヲ致シマスコトモナイトハ限リマセヌノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ組合ノ役員デアアル地位ヲ失ハシメル方ガ適當デアアルノデゴザイマスガ、現在ハ命令スルコトハ出来テ居リマスケレドモ、直接ニ役員ノ地位ヲ解任スルト云フヤウナコトハ出来マセヌノデ、是モ直接ニ、迅速ニ爲シ得ルヤウニシタ方ガ物資、物價ノ統制上必要デアルト考ヘマシテ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、モウ一ツハ役員ヲ緊急ニ補充スル必要ガアルヤウナ場合、是モ直接ニ任命シ得ルヤウニシテ置イタ方ガ便利デゴザイマスノデ、斯ウ云フヤウニ改正ヲ致シテ行政官廳ガ行政處分ニ依ツテ直接ニ選任又ハ解任ヲ爲シ得ル、サウシテ一旦選任シタモノハ、組合員ガ勝手ニ其ノ役員ヲ、辭メサセテハ困リマスノデ、サウ云フ場合ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケナケレバ辭メサセ

ル譯ニイカナイ、斯ウ云フ風ニシテ行政官廳ノ關與ヲ強ク致シタノデゴザイマス、ソレカラ第三條ノ一項ノ二號デゴザイマスガ、是ハ組合員ノ營業ニ關スル統制デゴザイマシテ、工業的ノ統制事業ヲヤツテ居ル

ヤウナ組合ニ付テノ規定デゴザイマス

○渡邊委員 第三條第一項第二號ノ事業ト云フコトハ、統制商業組合デナケレバナライ、多クノ商業組合ハ現ニ統制ガ主ナル事業デアアルコトハ明カデアリマス、尙ホ斯ウ云フ風ナ商工省ガ理事又ハ監事ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得ル制度ヲ設ケラレテ居リマスレバ、商業組合ノ解散ヲ命ズルト云フコトハアリ得ナイコトニナル、私ガ曩ニ質問シタ解散ヲ命ズル前ニ役員ノ入替ヲ命ズルコトガ出来得ルト解釋シテ宜イノデアリマスガ、其ノ關聯ノ點ヲ承ツテ置キマス、更ニ此ノ點ノ問題ニ付キマシテハ大臣ニ直接伺ヒマスカラ多ク追究致シマセヌ、今私ノ伺ツタ點デケテ御答辯願ヒマス

○妹川政府委員 只今ノ御質疑ノ點デアリマスガ、實際問題ト致シマシテハ恐ラク御示ノ通り組合ノ解散ナドヲ命ズルコトナク、役員ノ入替ヲ行ツテ、サウシテ大體行政官廳ノ命令通りニヤリ得ルト考ヘマスガ、規定ノ上デハ兎モ角組合ニ解散ヲモ命ジ得ルト云フコトニナツテ居リマス

○渡邊委員 兎モ角此ノ新ニ設ケラレタル理事監事ノ選任解任ガ行政官廳デ自由ニ命令デ行ヘルト云フ點ニ付キマシテハ、大臣ニ質問ヲ保留シテ置キマシテ次ニ移リマス、第二十六條ニ左ノ一項ヲ加フ、特別ノ事情アル場合ニ於テハ行政官廳ハ第三條第一項第一號ノ事業ヲ行フ商業組合ノ定款又ハ第七條ノ規程ノ變更ヲ爲スコトヲ得、是ハ商業組合ガ正規ノ手續ヲシテ定款ノ改正ヲシナクテモ、行政官廳ガ特別ノ事情アリト認めタ時ニハ、命令ト申シマスガ、ソレデ出来ルコトニナツテ居ルト承知シテ居ルノデア

ルガ、斯ウ云フ場合ニハ如何ナル場合ヲ指

スノデアルカ「第七條ノ規程ノ變更ヲ爲スコトヲ得」トハドウ云フ變更ヲ爲スノデアルカ、其ノ點ヲ承ツテ置キマス

○妹川政府委員 只今御指摘ノ點デゴザイマスガ、此ノ商業組合法ノ第三條ノ一項ニ號ノ統制事業ヲ行フ商業組合ト、第七條ノ營業ニ關スル統制ヲ行フ組合、斯ウ云フ組合ノ定款デアリマス、或ハ統制規程ハ現在ハ行政官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要スルコトニナツテ居リマス、サウシテ若シ行政官廳ガ必要ト認メマシタナラバ、其ノ定款又ハ規程ノ變更ヲ命ジ得ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、現在商業組合ガ物資ノ配給統制ノ機關ト致シマシテ、或ハ物價統制ノ機關ト致シマシテ、國家的色彩ガ相當濃厚ニナツテ參ツタノデ、若シ組合ノ自治的ナリ方ニ委ネテ置キマスナラバ、急速ニ定款ノ變更或ハ統制規程ノ變更ヲ命ズルト云フヤウナ必要ガ、物資ノ統制或ハ物價ノ統制ノ上カラ必要ナノデアリマスガ、其ノ際迅速ニヤリ得ナイノデゴザイマス、ソレデアリマス、今度規定ヲ改正致シマシテ、定款ノ變更ノ處分或ハ統制規程ノ變更ノ處分ヲ直接ニ爲シ得ル、只今マデハ命令シテ置イテ、向フガ變更シテ認可ヲ申請シテ來テ居ツタノデアリマスガ、今度ハ行政官廳ガ直接ニ、變更ノ命令ヲ出サナクテ變更ノ處分ヲ爲シ得ルヤウニシテ、時代ニ即應シテ急速ニ物資配給ニ、或ハ物資統制ノ目的ヲ達シタイト云フノデ、此ノ改正ヲ行ツタノデアリマス、是ハ昨年ノ工業組合ノ改正ニ於テモ同様ノ改正ヲ行ヒマシタヤウナ次第デゴザイマス

○渡邊委員 商業組合ニサウ云フ必要ガ事實アルデセウカ、特別事情アル場合ニハ行政官廳ハ第七條ノ規程ヲ變更スルト云フヤウナ場合ガ殆ドアリ得ルカ、若シ配給ノ原則ガ決ツテ居レバソレニ順應スルノデアルカラ、斯ウ云フヤウナ條文ハナクテモ命令ヲ遵奉シテ行クノデハナイカ、斯ウ云フ點ニ付テ尙ホ一言御答辯ヲ願フテ置キタイト思ヒマス

○妹川政府委員 只今ノ御指摘ノ點デアリマスガ、或ハ時間ヲカケテモ宜イト云フコトニナレバ、變更命令ヲ致シマシテ、サウシテ組合デハ總會ヲ開キマシテ定款ノ變更ヲ致シマシテ、認可ヲ申請シテ來ル、ソレヲ許可スルト云フヤウナコトニ致シマシテモ差支ナイノデゴザイマスガ、只今ノ現狀ハ物資ノ配給統制ノ爲ニ、或ハ物價ノ統制ノ爲ニ商業組合ノ色々利用致シテ居リマスノデ、サウ云フ際ハ何分早く處置ヲ執ラナケレバナリマセヌノデ、何カ一々定款ノ變更ヲシマスヤウナ場合、總會ヲ召集シテ定款ノ變更ノ認可ヲ申請スルト云フコトニナリマス、相當時日ヲ要シマス、例ヘバ單位組合デサウ云フコトヲヤツテ、聯合會デヤウナコトニナリマス、數箇月ヲ要スルコトモアリマス、其ノ點今マデ色々變更命令ヲ出シテ居リマスガ、不便ガゴザイマス、直接ニ行政官廳ガ斯ウ云フコトヲ爲シ得ルコトニシタラ餘程便利ニナリマス、サウ云フ考ヲ以テ此ノ規定ノ改正ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○渡邊委員 次ニ第三十二條ノ二「商業小組合ハ小商業者ヲ以テ之ヲ組織シ」云々トアリマス、地域ノ問題ノ行政官廳ニ付テノ問題ハ、先刻少シ承リマシタガ、此ノ地域ナルモノハ二府縣以上、三府縣四府縣ニ跨ツテモ、之ヲ認メル意思ガアルノデアルカドウカ、又小商業者ノ範圍ニ關シテハ、必要ナル事項ハ命令ヲ以テ定メルト云フノデアルガ、其ノ小商業者ト云フモノハ一體ドシナモノヲ指シテ云フノデアルカ、先ヅ其ノ點ノ御答辯ヲ願フテ置キマス

○妹川政府委員 只今御質問ノ點デゴザイマスガ、商業小組合ガ二府縣ニ跨ガリ、或ハ數府縣ニ跨ガルト云フコトハ、ドウモ常識的ニハ確ニヲカシイノデアリマス、併シ理論的ニハサウ云フコトモアルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、併シ事實ハ二府縣ニ跨ツテ、小サイ商業者ガ小組合ヲ組織スルト云フヤウナコトハ、大體ナイモノダト考ヘテ居リマス、又小商業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ定メルコトニシテ居リマスガ、大體資本金三千圓位ノモノヲ限度トシテ、小商業者ノ範圍ヲ決メタイ、ソレカラ又商工大臣ノ指定スルモノニ付キマシテハ、或ル業者ニ限りマシテハソレ以上ノ資本金額ヲ以テ商業小組合ノ限度ヲ決メタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 小商業者ノ範圍ガ、資本金三千圓位ト云フ御豫定ノヤウニ承リマシタ、其ノ資本金ト云フノハ、現在店ニアル商品ノ値段ヲ指スノデアルカ、或ハ資本金ハ三千圓デモ、手形等ヲ出シテ、相當大キク活動シテ居ルモノヲ含ムノデアルカ、此ノ問題ニ付キマシテハ丁度工業小組合ト能ク似テ居ルト思ヒマス、併シナガラ工業組合ノ小組合ハ非常ニ評判ガ悪い、若干認可サレタモノハアルヤウデアリマス、ケレドモ、ドウモ途中デ商工省ガ大藏省ニ押サレテ、總テノ租稅ヲ出サナケレバナラヌヤウニナツテ居ル、是デモソシナ風ニナツテ居ルト

思フガ、ソレハアトデ質問シマス、其ノ小組合デ税金ヲ出シテ、各、又別ニ同ジヤウナ租稅ヲ納メテ行カナケレバナラヌトスルト、折角斯ウ云フモノヲ御作リニナツテ、ソレノノ負擔ヲ受ケ小商人ハ却テ不利ノ場合ガ多イト思フノデアルガ、私ハ其ノ目標ヲ承ツテ置キタイ、今三千圓ノ資本金ヲ持ツテ居ル、サウシテ各小組合ヲ作ツテ、小組合ガ法人トナツテソコデ色々租稅ヲ納メテ、サウシテ又自分ニ分レテ、自分ガ個人デ營業スルノデアリマス、個人ノ營業ニ持ツテ來テ又税金ガ課セラレ、斯ウナルト小組合ヲ作ルコトニ依ツテ、却テ小商業者ヲ救フ所以ニナラズシテ、壓迫スルト云フ結果ヲ生ジテ來ルノデハナイカト思フ、左様ナ小組合ナラバ作ル必要ハナイ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、御承知デアリマセウ、昨年工業組合ノ小組合ガ出來マシテカラ、サウ云フヤウナ租稅ノ點ニ於テ、商工省ト大藏省トガ折衝サレテ、折角法ガ出サレタモ、實施サレタノハ八月頃デ、漸ク工業小組合法ヲ實施サレタ事實カラ致シマシテモ、是ガ却テ小商業者ニ不利ナル立場ニナツテ、暗礁ヘ乗上ゲルヤウナ虞ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

○妹川政府委員 只今ノ御質問ノ小商業者ノ範圍ヲ資本金三千圓トシタ、其ノ資本金トハドウ云フモノヲ言フノコト云フ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ固定資本モ流動資本モ含ミマシテ、資本金ノ限度ヲ決メタイト思ツテ居リマスガ、例ヘバ營業所ノ建物デアルトカ、敷地ト云ツタヤウナモノトカ、自動車トカ、機械トカ云ツタヤウナ什器類ガアルトカ、ソレカラ御話ノ通り手持ノ商

品デアルトカ、預金デアルトカ、賣上代金デアルトカ、サウ云フモノモ入レテ資本金ヲ算定致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ御尋ノ、小組合ハ現在ノヤウナヤリ方デハ、十分ニ目的ヲ達シナイノデハナイカト云フ御尋デゴザイマシタガ、工業組合ノ方ニ於キマシテ小組合制度ヲ設ケマシタノハ、昨年初メテデゴザイマシテ、未ダ十分トハ申セマセヌケレドモ、確カ私ノ記憶シテ居ル所ニ依ルト、既ニ設立シタノガ七十九ゴザイマスガ、ソレカラ更ニ二百六十位ノモノガ認可申請中ト聞イテ居リマス、其ノ後此ノ制度ガ段々分ツテ來ルト共ニ、各府縣ニ於テモ相當サウ云フヤウナ企ガアルヤウニ存ジテ居リマスガ……

〔野方委員長代理退席、委員長著席〕

工業小組合ニ付キマシテモ、或ハ之ニ依ツテ商業者ノ更生ヲ圖ルトカ、或ハ十分ナル目的ヲ達スルト云フヤウナコトハ出來ナイノカモ知レマセヌケレドモ、小商業者ト云ツタヤウナ連中ガ、相當ヤハリ此ノ共同施設ニ依ツテ、利益ヲ増進サセ得ルモノダト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○井上委員長 渡邊サンニ一寸申上ゲマスガ、極メテ簡單ニ御願シマス

○渡邊委員 勿論畫マデニ濟ムヤウ簡單ニシマス、小組合制度ノ資本金三千圓ト云フノハ、固定資本モ流動資本モ入レテデアル、斯ウ云フコトヲハツキリ仰シヤツタガ、モウ少シ彈力性ノアルヤウニ御答ニナル必要ガアルノデハナイカ、三千圓ノ家ニ居ル者ハ、固定資本ガモウ三千圓ニナルカラ駄目ダ、借家ニ居ルト宜イト云フヤウナ關係モアリ、此ノ資本金三千圓、丁度小組合デハ資本金二萬圓デシタカ、ト覺

エテ居リマスガ、是ハ見方ニ於テハ相當彈力性ガアルト思ヒマス、アナタノヤウナ御答辯ニナルト、彈力性ガナイ、三千圓ノ資本金デ、借家ニ居ル者ト自分ノ家ニ居ル者トデハ、固定資本ト云フモノニ付テ違ツテ來ル、斯ウ云フ點ニ付テハモウ少シ御考ニナル必要ガアルト思ヒマス、又工業組合ノ小組合ガ段々發達シテ居ルノダト云フコトハ、ソレハ制度其ノモノガ宜イノデナクシテ、物資ガ缺乏シ、鍛冶屋ガ「カーバイト」ガナイカラ一緒ニナルヨリ仕樣ガナイノダ、斯ウ云フコトカラ一緒ニナツテ居ルノガアル、其ノ他同ジ趣旨デ各種ノ例ハ澤山アルガ省略スル、隨テ工業組合ノ小組合ガ已ムヲ得ズシテ結成サレテ居ル、私ノ今初メニ質問シタ所ハ、商業者所謂小賣業ナリ卸業ナリガ、斯ウ云フ制度ニ依ツテ組合デ租稅ヲ納メ、ソレヲ又自分ニ分ケテ同ジヤウナ稅金ヲ納メナケレバナラヌト云フコトニナルト、小組合ト云フモノガ發達出來ナイノデハナイカ、折角商業者ヲ救フ上ニ御作リニナルナラバ、斯ウ云フモノニ對シテハモウ少シ裕トリノアルヤウニ、大藏省ニ押サレナイヤウニ、初メノ時ノ答辯ニハ、サウ云フ稅金ハ課ケナイヤウナ意思ガアツタノデスヨ、今斯ウ云フ時デアリマスカラ特別法人稅トシテ課カルコトモ是ハ已ムヲ得ナイ、サウ云フヤウナコトハ仕方ガナイト云フ言葉ハ商工省ガ弱イト思フ、サウ云フヤウナ各種ノ稅金ヲ茲ニ課ケテ、更ニ個人ニ課カルコトニ於テ折角ノ目的ガ達セラレナイト云フコトノナイヤウニ、御注意ヲ願ツテ置キタイ、此ノ點ニ付テ更ニ御答辯ヲ願ツテ置キタイ、尙ホ重ネテ申シマスノハ、人數八十人ヲ超エザルコトトア

リマスガ、此ノ人數八十一人デハイカヌノデアルカ、或ハ少シハ裕トリガアルノデアルカ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○加藤政府委員 其ノ十人以上十一人ナラバドウカト云フ御尋デアリマスガ、サウスルト十二人ナラバドウカ、十三人ナラバドウカト云フコトガ出テ參リマスノデ、非常ナ根據ガアル譯デハアリマセヌガ、成ベク氣心ノ合ツタ者ト云フ所デアリマスガ故ニ、十人以上内ガ適當デアラウト、斯ウ思ツテ十人以上ト云フコトニナツタノデアリマス、ソレデ十一人ト云フコトニナリマス、十二人モドウカトナルヤウデゴザイマシテ、十人以上ノ少數ノ人ガ宜カラウト、斯ウ思ツテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ先刻ノ稅金ノコトニ付テ御質疑ガアリマシタガ、是ハ渡邊君モ御承知ノ通りデアリマシテ、商業小組合ニハ營業稅ダケハナシト云フコトニ相成ツテ居リマス

○伊東委員 一寸關聯シテ二分バカリ……

○井上委員長 簡單ニ願ヒマス

○伊東委員 此ノ三十二條ノ六ノ末項ニ「前項ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ當該商業小組合ハ當該組合ノ組合員」トアリマスガ、此ノ場合ニハ小組合十名ヲ一個トシテ組合員ト認ムルノデアリマスカ、此ノ點如何デアリマスカ、ハツキリセヌノデアリマスカ……

○加藤政府委員 十人ナラバ十人ノ小組合ヲ商業組合ノ一人ト認メル譯デアリマス

○渡邊委員 ドウモ委員長カラ簡單ノ御請求ガアリマスノデ私モ極メテ簡單ニヤリマスガ、第三十二條ノ六ニ「商業小組合ハ當該商業ニ關スル商業組合ノ組合員タルコトヲ得」トアリマス、是ハ要セザルノデアツテ、

ソレハ特別事情アル場合ニハ組合員ニナラナクテモ宜イノデアルカ、ドウ云フヤウナ關係ヲ成シテ居リマスカ、更ニ第三十二條ノ八ニ「商業小組合ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル後二週間以内ニ」云々トアリマスガ、其ノ出資ハ最高何程ガ適當ト認メテ居ルノデアルカ、又第一回拂込ト云フノハ四分ノ一ヲ限度トスルノデアルカ、ドノ程度ヲ限度トスルノデアリマスカ、又第三十九條ノ九ニ、只今加藤サンカラ御答辯ノアツタヤウニ、商業小組合ニハ營業稅ハ課ケナイ、是ハ營業稅ハ課ケナイコトハ承知シテ居リマス、併ナガラ營業稅以外ノ稅金ハ全部課稅サレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ今一應承ツテ置キタイト思ヒマス、モウアト一點ダケデスカラ宜シク願ヒマス

○加藤政府委員 今ノ稅金ノ問題デゴザイマスガ、營業稅ノミハ免除セラレルコトハ只今申上ゲタ通りデアリマシテ、其ノ外登錄稅印紙稅ヲ課セヌノデアリマス、隨デアトハ課スル譯ニナリマス

○妹川政府委員 三十二條ノ六ノ規定ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、商業小組合ハ當該商業ニ關スル商業組合ノ組合員タルコトヲ得ルノデアリマスカラ、是ハ是非ナラナケレバナラナイ譯デハアリマセヌシ、任意ノ加入デゴザイマスカラ、御尋ノ通りデゴザイマス、ソレカラ三千圓ノ資本金ヲ彈力性ヲ持シテ考ヘタラドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、是モ全く御示ノ通りデゴザイマシテ、吾々モ之ヲ難シク固定資本ハ幾ラダ、流動資本ハ幾ラダト云フヤウニ考ヘズニ、固定資本、流動資本ニ付キマシテモ、又各商業者ノ關係ノ間ニ於キマシテモ、十分彈力性ヲ以テ樂ニ考ヘタイト、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ居リマス、ソレカラ出資ハ一體ノ位サセレバ宜イノダト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ何分ニモ小サイ業者ガ寄集ツテ拵ヘタ組合デゴザイマスノデ、幾ラデモ宜イト考ヘテ居リマスケレドモ、唯一口ノ金額ハ均一デナケレバナルマイト思ツテ居リマス、現在商業組合ニ於キマシテハ二十圓以上ノ出資ヲ必要トスルト云フヤウナ方針ヲ執ツテ居リマスカラ、小組合ニ付キマシテハ是ヨリ少クデモ宜イコトダト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 小組合ガ其ノ地區ノ商業組合ニ加入ヲセズデモ宜イ、斯ウ云フヤウナ條件ハ相當弊害ガアルノデヤナイカ、私ハ其ノ地區デ商業組合ガアル所ニ於キマシテ小組合ヲ設ケタモノニハ、當然加入スルコトヲ要スト云フコトガ適當デアルト思フケレドモ、只今ノ御答辯デアリマス、加入シナクテモ宜インダ、ソレハ自由ダ、斯ウ云フ解釋デアリマスガ、其ノ御所見ニ付テ尙ホ一應承ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ資本金ニ付テハ三千圓ト云ハレマシタケレドモ、資本金ト財産トハ違フカラ、商賣ニ三千圓掛ケテ居リマシテモ、其ノ人ノ信用ガ無限デアラナラバ、小商業者ト雖モドンナ大キナ仕事デモ出來ルノダ、斯ウ云フコトニ解釋シテ宜イノデアアルカドウカ、ソレカラ新シキ質問ニ移リマス、第五十四條ノ二デアリマス、商業組合中央會ハ強制加入ノモノデアアルカドウカ、所謂商業組合ハ中央會ニ入ルベキコトヲ要スルノカ、得ルノデアアルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス、尙ホ此ノ條文ニ「商業組合監査員ヲ置クベシ」ト書イテアリマス、是ハ中央會ニ商業組合監査員ヲ置クコトヲ得ルノデアアルカドウカ、私ハ此ノ中央

會ニ置クノデアラウト思ヒマスガ、中央會ニ監査員ヲ置イテ、自己監査ヲスルト云フ制度ハ洵ニ宜イト思フノデアリヌウ云フ宜イ事ヲ提案サレタノナラバ、ナゼ工業組合中央會ニモ監査員ヲ置クコトニ提案シナカッタカ、以上御尋致シマシタ、諸點ニ付テ、重ネテ質問ヲ要セナイヤウニ丁寧ニ御答辯ヲ御願致シテ置キマス

○加藤政府委員 三十二條ノ六ニ「商業小組合ハ常該商業ニ關スル商業組合ノ組合員タルコトヲ得」トアツテ、ナゼ強制的ニ組合員ニ入レルヲ要ストシナイノデアアルカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、是ハ普通ノ商業組合員ト同様、強制加入ト云フコトガシテナイノト同様ノ意味デアリマス、併シ必要ノアル場合ニハ命令ヲ以テ之ヲ加入サセルト云フコトニナツテ居ルノデス、左様御承知ヲ願ヒマス

○妹川政府委員 今度新ニ加ヘマシタ商業組合中央會ガ商業組合ノ監査ヲ爲スコトヲ得ルト云フ規定ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、ソレハ中央會所屬ノ組合ニ限ツテ監査ヲ行フコトガ出來ルノデアリマシテ、中央會ニ入ツテ居ナイ未所屬ノ組合ニ付テハ監査ガ出來ナイコトニナツテ居リマス、併シ出來ル限リ此ノ中央會ニ加入スルヤウニ致サセマシテ、サウシテ組合ノ自治的監査ヲモ爲サヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ工業組合ニ付キマシテモ、此ノ自治監査制度ヲ設ケタカツタノデゴザイマスガ、先ヅ商業組合ニ差當リヌウ云フ制度ヲ設ケテヤツテ見テ、此ノ制度ガ相當效果ガアルト云フコトデアツタナラバ、工業組合ニ付テモ更ニ改正シテ此ノ自治監査制度ヲヤルヤウニ致シタイ、斯ウ云フヤウニ

考ヘテ居リマス、ソレカラ資本金ヲ三千圓ニ限ツタ點ニ付テノ御質疑デアリマスガ、是ハ先程御答申上デマシタヤウニ、固定資本ト流動資本ニ付テ合計三千圓以下ノ者ヲ商業小組合員ニスルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、資本金以外ニ今ノヤウナ商賣ヲ非常ニ大キクシテ居ルノハドウカト云フ點、是ハ多少矛盾シテ居ルカトモ考ヘマスケレドモ、此ノ法律ノ規定ノ上デハ先ヅ資本金ヲ限ツテ商業者ノ範圍ヲ決メタノデゴザイマシテ、確ニ御示ノヤウニ資本金額以外ニ事業ノ分量ト云ヒマスガ、事業ノ賣上代金ノ點トカ、其ノ規模、或ハ使用人ノ點、色々ナ

點ヲ考ヘテ、其ノ業種業態ニ依ツテ決メナケレバナラヌノデアリマス、本當ハサウ云フ點モ同時ニ考ヘテヤルベキデアリマスケレドモ、何分ニモサウスルト複雑シテ其ノ區別モ困難ニナリマスノデ、是ハ一ツ明確ナ資本金ノ點カラヤツタ方ガ、比較的外形的ノ區別ヲ爲シ得ルノデハナイカト考ヘマシテ、此ノ改正法ニ於キマシテハ資本金三千圓以下ノ者ニ限ツテ小組合ノ組合員トナルコトガ出來ルト云フヤウニ、規定致シタノデゴザイマス

○渡邊委員 只今色々御答辯ニナリマシタガ、工業組合ニ對シテハ二萬圓以下ノ工業者ヲ小組合ニ加盟スル資格者トシテ居ツテ、商業組合ガ三千圓ト云フノハ餘リニ其ノ差ガ多過ギルデハナイカ、其ノ點ニ付テハ能ク御考ヲ願ツテ置キタイ、又税金等ニ於キマシテモ、其ノ組合デ拂ヒ、個人ト兩方デ負擔シナケレバナラヌヤウナ重複課税サレル結果ニナルト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付テモ十分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、私ハ大臣ニ質疑スル要項ダケヲ留保シ

テ是デ打切りマス
○井上委員長 午後ハカツキリ一時ニ始メマシテ、損害保險國營再保險法案ノ討論採決ニ入りタイト思ヒマス、必ズ一時ニハ御參集ヲ願ヒタイト思ヒマス是デ休憩致シマス
午後零時二十分休憩
午後一時十五分開議

○井上委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス、是ヨリ損害保險國營再保險法案ヲ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ行ヒマス——古田君
○古田委員 各派ヲ代表シテ贊成ノ意見ヲ述ベタイト存ジマス、本法ハ國際關係ノ變局ニ際シ損害保險事業ノ圓滑ナル運行ヲ期スル爲ニ必要ナル非常措置タルヲ認ムルモ、特ニ以下ノ四項ニ付キ留意サレタシ
一、再保險制度ニヨリ民間業者ヲ壓迫セズ殊ニ多年ノ商習慣ヲ尊重スルコト
二、第十二條ノ命令ヲ發動スルニハ委員會ニ諮問スルハ勿論其ノ委員會ニハ民間ノ專門家ヲ多數加入セシメ其ノ運用ニ萬遺憾ナキヲ期スルコト
三、政府ガ言明スルガ如ク保險料率ハ民間會社ノ企圖シ得ザル低料率タルベキコト
四、關係各省トノ交渉ハ十分是ガ折衝ヲ遂ゲ以テ保險資金ノ擴充ヲ期スルコト
以上ヲ申上デマシテ原案ニ贊成スル者デアリマス

○井上委員長 別ニ討論ノ通告者モアリマセヌ、是デ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ御願シマス

〔總員起立〕

○井上委員長 起立總員、本案ハ原案ノ通り可決致シマシタ——加藤政府委員

○加藤政府委員 只今御賛成ノ御趣旨ヲ拜承致シマシタ、政府ト致シマシテハ御趣旨ヲ尊重致シマシテ、之ヲ施行致シマス上ニ於テハ萬違算ナキヲ期シタイト存ジマス

○井上委員長 是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後一時二十分散會

昭和十五年三月十二日印刷

昭和十五年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局